

やさしい中学歴史 7-1 チェック問題 氏名

- (1) 奈良の平城京から長岡京に都を移した[① 天皇]は、さらに794年、京都の[② 京]に都を移した。これは奈良時代の終わりに、僧が政治に関わり混乱したため、新たに政治を立て直すためである。そこで唐に渡った僧である[③ と]が帰国したあとに開いた新しい仏教を保護した。
- (2) 最澄は滋賀県の[① 山]に[② 寺]を建て、[③ 宗]を広めた。
- (3) 空海は和歌山県の[① 山]に[② 寺]を建て、[③ 宗]を広めた。
- (4) 平安京は、天皇を中心とする律令国家を維持し発展させるために東北地方が必要と考え、[①]を[②]に任命して東北地方に派遣し、蝦夷(当時の東北地方)を平定した。

(1)①	(1)②	(1)③
(2)①	(2)②	(2)③
(3)①	(3)②	(3)③
(4)①	(4)②	

やさしい中学歴史 7-2 チェック問題 氏名

- (1) 天皇を中心とする政治の基本は、土地も人民も天皇のものであるという[① 制]であったが、桓武天皇の頃には [② 法]によって新しく開墾した土地の私有が認められていた。そのため有力な貴族や寺社は私有地を増やしていった。この私有地を[③]という。これらの土地の所有者は、税を逃れるため強大な権力をもつ[④ 氏]などに寄進された。
- (2) 894年、宇多天皇の信頼が厚かった[①]は、遣唐使の廃止を提案し、採用された。しかし藤原氏の嘘の申し立てがあり、大宰府に追放された。さらに藤原氏は、天皇が幼いときなどに天皇の代わりに政治を行う役職である[②]、成人した天皇を助けて政治を行う役職である[③]として、実権を握っていった。これを[④ 政治]という。この全盛期は、11世紀前半の[⑤ と]のときであった。
- (3) 白河天皇は、幼い息子に天皇の位を譲り、自分は[①]となって息子である天皇を監督しながら、政治を行った。これを[②]という。これにより藤原氏の摂関政治は衰え始めた。

(1)①	(1)②	(1)③
(1)④	(2)①	(2)②
(2)③	(2)④	(2)⑤
(3)①	(3)②	

やさしい中学歴史 7-3 チェック問題 氏名

- (1) 平安時代、貴族は〔① 造〕の住居に住んでいた。貴族の女性が着用していた正式な服装は〔② 〕といわれる。
- (2) 平安時代、仏法が衰えて世の中が乱れるという〔① 思想〕が広まり、念仏を唱えて阿彌陀仏にすがれば、死んだあと極楽浄土に行けるといふ信仰が広まった。これを〔② 信仰〕という。代表的な建物に京都にある〔③ 〕がある。これは〔④ 〕が建てた。
- (3) 平安時代は、〔① 〕が停止されたため、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が発達した。これを〔② 文化〕という。
- (4) 漢字を変形し、日本語の発音を表すように工夫した〔① 文字〕が普及した。〔② 〕が『源氏物語』を、〔③ 〕が『枕草子』を、〔④ 〕が『土佐日記』を著した。最初の勅撰和歌集である『〔⑤ 〕』もつくられた。また、当時の風俗や人物をえがいた〔⑥ 〕も発達した。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(2)③	(2)④
(3)①	(3)②	(4)①
(4)②	(4)③	(4)④
(4)⑤	(4)⑥	

やさしい中学歴史 7-4 チェック問題 氏名

- (1) 土地を守るなどの理由で誕生した武士は、強くなるためにチームを作り[①]となった。中でも有力だったのが[② 氏と 氏]だった。
- (2) 935年の[① の乱]、939年の[② の乱]により、武士の力が世に認められるようになった。
- (3) 東北地方では、1051～1062年の[① の役]を源氏が平定した。その後、1083～1086年の[② の役]でも源氏が藤原氏を助けた。平泉を拠点に勢力を広げた藤原氏を[③ 氏]という。世界遺産に登録されている[④]を建立した。
- (4) 1156年、後白河天皇と崇徳上皇が権力を争って朝廷内で対立する[① の乱]が起こった。平清盛や源義朝が活躍した。その後1159年、平氏より下の扱いに怒った源義朝が[② の乱]を起こした。勝利した[③ 源氏 / 平氏]の地位と権力が高まった。
- (5) 1167年、[①]は朝廷の最高職である[②]となり、武士として初めて政治の実権を握った。[③]という港で、中国の[④]と貿易をした。また世界文化遺産にもなっている広島県の[④ 神社]を整備した。
- (6) 平氏は強大な権力と財力を手に入れたが、1185年の[① の戦い]で[②]や源義経に滅ぼされた。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(3)①	(3)②
(3)③	(3)④	(4)①
(4)②	(4)③	(5)①
(5)②	(5)③	(5)④
(6)①	(6)②	